卒業セミナーⅠ

科目ナンバリング　SEM-401
選択必修　　2単位

藤田　敏明

1. 授業の概要（ねらい）

前期後期を通じての基本線は「不思議な時空間」。世界中の文化に存在する「今、ここではない、不思議などこかへのあこがれ、願望」を主題として取り上げ、そこから人間の感性の普遍性を考えていきたい。前期は「不思議な森の世界」。神話伝説、文学作品、バレエ、オペラ、戯曲、等、いくつかの具体的な文化事象を例として、「都会から離れた、不思議な世界―森」へのあこがれと畏怖について考察する。

2. 授業の到達目標

対象作品の理解はもちろんのことだが、単独に作品を「知る」だけではなく、そこに普遍的にある「人間の感性、心理状態の普遍性」をも理解すること。さらには、それを通じて、「自分が今までに知っている狭い範囲の知識」ではなく、「より広い視野」「自分自身（自国文化）を相対化した、比較文化的感覚」を身に着けることそしてそれを「自分自身の言葉でレポートとしてプレゼンテーションあるいは表現できること。。

3. 成績評価の方法および基準

毎回の授業最後の小レポートにおける、「授業内容理解」五割、、および、プレゼンテーションの状況と期末レポートとが五割。。ただし、プレゼンテーションとレポートは必須。

4. 教科書・参考文献

教科書
教科書、参考書は使用せず、教員作成のハンドアウト、および映像で授業を進行する。参考文献は適宜参照する。

5. 準備学修の内容

授業開始までに、欧米文化についての常識的な知識は身につけておくこと。毎回の授業ごとに、前回の授業内容についての自己の理解を確認すること。自分の過去に知識との比較において、どういう「新たな知識」があったかを確認すること。

6. その他履修上の注意事項

知識を身に着ける、ということではなく、自分の頭脳で考えること、それを、借り物ではなく自分自身の言葉で表現すること。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション。授業の全体像。中国における「森の中の楽園」である「桃源郷」の紹介。（文献）。ギリシアにおける「楽園」アルカディアの紹介（映像、<ファンタジア>
【第2回】　キリスト教における楽園「エデンの園」。映像及び文献。世界的な『楽園伝説』の普遍性。
【第3回】　シェイクスピア演劇における「不思議の森の世界」、「夏の夜の夢」映像及び文献。、
【第4回】　「夏の夜の夢」後半
【第5回】　バレエ版「夏の夜の夢」」
【第6回】　ヨーロッパの伝説における「不思議な森」「イントゥ。ザ。ウッヅ」
【第7回】　後半
【第8回】　バレエ「ジゼル」
【第9回】　後半
【第10回】　オペラ「魔笛」
【第11回】　後半
【第12回】　学生のプレゼンテーション。三名――四名
【第13回】　プレゼンテーション。三名――四名
【第14回】　プレゼンテーション。三名――四名
【第15回】　プレゼンテーション。三名――四名